

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 12 年度第 1 回)

開會日時 昭和 12 年 3 月 3 日(水)午後 5 時

出席者 水谷 叔彦 渡邊 三郎 吉川 晴十 河村 驥
・ 俵 國一 鹽田 泰介 山田良之助 鹽澤 正一
三島 徳七

協議事項

1. 本會の決算書及財産目録の様式を正式簿記方に改正の件
昭和 12 年 3 月 2 日(火)午後 5 時より本會事務所へ東渡會計事務所々員會計士角田重太郎氏を招ぎ河村、島岡兩監事及松下理事、鹽澤常務委員出席し同會計士に從來の決算様式を正式簿記法に改めさせ審議の上昭和 11 年度決算編成より實行を決定したるものを本理事會に於て可決せり
2. 第 22 回通常總會、第 17 回講演見學大會、第 15 回研究部會開催準備細目に付協議
3. 入退會者及會員異動 (自 2 月 4 日至 3 月 3 日)
入退會者承認下記の通り
(1) 入會者 准會員 31 名
(2) 退會者 准會員 松岡新、尾崎清、帆足有志夫 計 3 名
(3) 死亡者 正會員 1 名 准會員 1 名 合計 2 名

報告

1. 鐵道省より大會參加者に對し汽車賃 2 割引の件 3 月 1 日付を以て許可ありたり
2. 吉川理事の嚴父 2 月 18 日御逝去の訃に接し本會は直ちに弔電及弔詞を贈呈せり
以上審議を了し午後八時散會せり

理事會 (昭和 12 年度第 2 回)

開會日時 昭和 12 年 4 月 7 日(水)午後 5 時

出席者 水谷 叔彦 吉川 晴十 山田良之助
三島 徳七 鹽澤 正一

協議事項

1. 日本鐵鋼協會故野田博士記念資金取扱規則に依る野田文庫委員候補者の推薦
22 名推舉しそれぞれ委囑狀發送の事
2. 日本鐵鋼協會第 18 回講演大會開催地及大綱決定
開催地 北海道、期日 10 月上旬、詳細は追て發表
3. 故古市男爵記念事業會へ金百圓也寄附決定
4. 主事 1 名を置き事務員を指揮し會務を掌理せしむる事決定
5. 入退會者及會員異動 (自 3 月 4 日至 4 月 7 日)
(1) 入會者承認數 正會員 8 名 准會員 32 名 計 40 名
(2) 退會者 准會員 淺田 正一 1 名
(3) 轉格者 准會員より正會員へ轉格 1 名

報告

1. 島岡、西村兩監事就任承諾
2. 昭和 12 年度社團法人事業報告文部省へ提出(4 月 6 日)
3. 社團法人變更登記(資産變更の件)完了(4 月 6 日)
以上審議を了し午後 8 時散會せり

編輯委員會 (昭和 12 年第 1 回)

開會日時 昭和 12 年 3 月 23 日(火)午後 5 時

出席者 水谷會長

委員 石原 善雄 五百旗頭啓 ○田中清治 ○山田良之助
廣瀬 政次 (○印常務委員)

協議事項

1. 昭和 11 年度社團法人事業報告原稿校正
2. 服部、香村、俵賞受領者の表彰文の審査
3. 研究部會資料の整理
4. 秋季大會に關する件
5. 編輯助手(圖工)青木 隆 辭職出願の件
承諾 補缺は鹽澤委員に御依頼
6. 日本工學會定款改正に關し協議
原案通り異議なし
以上審議を了し午後 8 時 30 分散會

編輯委員會 (昭和 12 年度第 2 回)

開會日時 昭和 12 年 4 月 7 日(水)午後 5 時

出席者 水谷會長 吉川理事

委員 山田良之助 三島 徳七 鹽澤 正一 廣瀬 政次

協議事項

1. 秋季大會開催準備の件
(1) 研究部會を開かざる事
(2) 通俗講演會を開く事
2. 鐵と鋼第 23 年第 5 號上掲抄録原稿選定
3. 鐵と鋼第 23 年第 6 號上梓論文原稿選定

決定原稿

- | | |
|---|------------------|
| (1) 兼二浦低磷銑に就て | 田畑 農夫 |
| (2) 鋼材と其纖維に就て | 陸路 録 |
| (3) 鋼塊に生ずる白點の成因に就て | 本多 光太郎
廣根 徳太郎 |
| (4) ニッケル、クロム鋼の白點に關する
二三の研究 | 下村 佳夫
池田 健治 |
| (5) 耐鹽酸合金の研究(第 3 報)
耐鹽酸ニッケル合金及鐵合金の探究 | 遠藤 彦造
板垣 彰 |
4. 鐵鋼要覽編纂進行
以上審議し午後 8 時 30 分散會せり

日本鐵鋼協會第二十二回通常總會

開會日時 昭和 12 年 4 月 1 日(木曜日)午前 11 時 20 分

場所 東京市麴町區丸の内 3 丁目 4 番地帝國鐵道協會々館
議長 日本鐵鋼協會々長 水谷 叔彦

正會員出席數 120 名、委任狀、465 通 (正會員總數 1,014 名)

(1) 議事

- イ、昭和 11 年度會務報告
- ロ、昭和 11 年度收支決算報告
- ハ、昭和 12 年度收支豫算報告
- ニ、任期満了評議員(半數)改選(投票開票)

(2) 表彰式

- イ、服部賞牌並に服部賞金贈呈式

服部賞牌受領者
服部賞金受領者
服部賞金受領者

久保田省三君
池内惣五郎君
上田太郎君
大谷悦太郎君
香春三樹次君
熊地直政君
三橋録造君
矢島忠和君

ロ、香村賞牌贈呈式

香村賞牌受領者

谷口光平君

ハ、俵賞金贈呈式

受領者

淺輪三郎君

〃

本多顯曜君

評議員當選者發表

磯村豊太郎君	一色 虎兒君	石川登喜治君	石原寅次郎君
井上禱之助君	井上匡四郎君	井上 順三君	井村 竹市君
二階堂行健君	本多光太郎君	戸村 理順君	大河内正敏君
渡邊 義介君	桂 弁三君	金子 恭輔君	景山 齊君
吉田 豊彦君	堤 正義君	室井嘉治馬君	鶴瀨 新五君
松本健次郎君	松田貞治郎君	藤井 寛君	藤田 俊三君
鮎川 義介君	澤村 宏君	白石元治郎君	島岡亮太郎君
島 安次郎君	末兼 要君		

總會行事終了(午後零時5分)(状況報告は次號掲載す)

日本鐵鋼協會第十七回講演大會

今回の大會に出席申込者 620 名にして以來の最高記録とす

第一日講演會 昭和 12 年 4 月 1 日(木)午前 9 時開會

出席者 480 餘名

會場 東京市麴町區丸ノ内 3 丁目 4 番地 帝國鐵道協會々館二階大講堂 當日出席者へ配布の爲め準備印刷物の通り

日本鐵鋼協會第十八回講演大會講大要及前刷

昭和 11 年度日本鐵鋼協會々務報告並に會計報告

第 17 回講演大會出席者名簿

服部賞受領者推薦理由書

香村賞受領者推薦理由書

以上受取りたる會員は順次會場に入り定刻を待てり、定刻の振鈴と同時に先づ水谷會長登壇し一場の挨拶ありて開會を宣し降壇直ちに司會者席に着し講演番號第 1 番の鋼塊の鑑定に就ての講演者梅澤工學士を紹介され第 2 番の講演を終り 10 分休憩となり順を追て司會者吉川博士、俵博士、朝倉博士、齋藤博士、渡邊博士、更代し本日のプログラムを進行せられたり

講演番號 10 屑鐵及不純物少なき海綿鐵を原料とせるニッケル、クロム鋼の機械的性質の比較 岩瀬博士 熱田工學士の講演は講演者の都合により取止められたり

第二日講演會 昭和 12 年 4 月 2 日(金)午前 9 時開會

出席者兩會場通計 450 餘名

本日は會場を 2 部に分ち第 1 部會場を二階大講堂、第 2 部會場を三階講堂とせり

第 1 部會場に於ては講演番號第 13 パネ板繰返曲げ試験機並に其の使用成績に就て大塚工學士の講演を以て開き司會者吉川博士、渡邊博士、荒木工學士、金子博士、水谷會長交代され、第 2 部會場にては、講演番號 27 大型曲軸の鍛造法並に軸受部の振りに就て原

理學士の講演をトップとし司會者俵博士、松下理事、澤村博士、井上博士、俵博士交代され本日のプログラムを進行され講演プログラムの 38 講演を演了し盡し本日を以て講演會を完了す

終りに今回司會者として御盡力賜りたる各位、多趣有益なる講演を發表されたる講演者諸氏に對し深甚の謝意を表す

晚餐會 會場 帝國鐵道協會々館食堂に於て

午後 6 時 30 分より開會 出席者 96 名にして盛況を呈せり詳細報告は次號に掲載す

日本鐵鋼協會第 15 回研究部會第 8 回製鋼部會

日時 昭和 12 年 4 月 4 日(日)午前 9 時 30 分開會

場所 東京市京橋區京橋 2 丁目明治屋ビル七階中央亭

議題 平爐の熱勘定

4 月 4 日午前 9 時 30 分開會吉川理事本會々長代理として開會の辭を述べ、委員長の選舉に入り、吉川會長代理の指名により井上克己博士を委員長に推すことに決す、井上委員長の挨拶の後に田中委員より資料整理に就き説明あり、資料提出數 23、熱勘定計算結果を圖示してその大要を述べた、次に各工場提出資料に就き各委員より説明あり、特に福井委員は昭和製鋼所熱管理所に於て爲したる熱勘定に就き試験装置の配置、溫度測定、壓力の測定、其他に就き詳細なる説明を爲した。晝食後 1 時迄休憩 1 時より再開討議に入り、特に重油使用に關する問題、コークス爐ガス使用問題、蓄熱室等に就き多く討議されて盡きず午後 5 時討議を打切り、本議題は測定甚だ困難であり且重要なものであるから尙引き續き次回に於て一層正確に行ふことに一決して 5 時半閉會す。

出席委員次の如し

村田 巖君(八幡)、志賀芳雄君(八幡)、海野三郎君(八幡)、緒方正一君(釜石)、大塚倬君(富士)、曾我部光晴君(大阪製鐵)、田熊龜三君(兼二浦)、長井盛君(室蘭)、松本茂樹君(室蘭)、原於菟雄君(室蘭)、伊澤藤吉君(大島)、井上 豊君(大島)、鈴木 甫君(東京鋼材)、中島省一君(吾妻)、原 勇一君(吾妻)、藤原唯義君(日本鋼管)、郷義二郎君(日本鋼管)、伊澤惣作君(日本鋼管)、深堀佐市君(鶴見)、山崎 章君(住友製鋼)、土居寧文君(住友製鋼)、絹川武良司君(住友鋼管)、鈴木秋三君(住友鋼管)、島村能夫君(中山)、山田 實君(神戸)、落合 勇君(川崎製鐵)、矢島弘一君(川崎製鐵)、澤田 悟君(大阪製鐵)、小池眞一君(昭和)、福井 眞君(昭和)、藤田守太郎君(昭和)、大窪 清君(石川)、藪内周三郎君(大阪工廠)、松山寛慈君(吳工廠)、以上工場推薦委員

井村 竹市君	城 正俊君	金子 恭輔君	川上 義弘君
久保田省三君	澤村 宏君	本多光太郎君	的場 幸雄君
井上 克己君	谷村 照君	松下 長久君	吉川 晴十君
荒川 直三君	俵 國一君	鹽田 泰介君	五百旗頭啓君
田中 清治君	山田良之助君	三島 徳七君	鹽澤 正一君
廣瀬 政治君	以上 55 名		

人事

主事招聘 昭和 12 年 4 月 14 日より風間篤次郎氏に主事として會務處理を委嘱す

編輯助手臨時雇青木 隆 依願解雇 昭和 12 年 3 月 8 日

〃 山下義雄 採用 昭和 12 年 4 月 19 日

會員異動

元准會員 上田太郎君、昭和 12 年 3 月より正會員に轉格す。

新入會者氏名 (自2月4日至4月7日)

居 所 又 は 宛 名 先	勤 務 先 又 は 職 業	會 員 別	入 會 者	紹 介 者
品川區上大崎長者九二七〇(高輪三〇〇八)	東京製鐵株式會社	正會員	南 俊 二君	田村三村寒田
本郷區蓬萊町三一(小石川三五二九)	工學士 東京電氣株式會社	"	益 田 英 夫君	中松島松川中
熊本縣葦光郡田ノ浦村八二二	工學士 東海電極製造株式會社 田ノ浦工場取締役工場長	"	永 井 雅 夫君	村井日內村田村
京都市右京區嵯峨天龍寺瀬戸川町二四ノ四	日新電機會社技師	"	谷 口 久 一君	松橋太
大連市伏見町一四 伏見寮	工學士 滿鐵鐵道研究所大連分所	"	佐 藤 勇 君	村井日內村田村
川口市横曾根字八反目三四〇(川口二八一四)		"	川口製鐵株式會社	松橋太
大阪市住吉區王子町三ノ二五	石川製鋼所技師	"	大 窪 清 君	松橋太
麴町區丸ノ内海上ビル 關東電氣製煉會社 (丸ノ内四六一二)	關東電氣製煉 技師長	"	太 田 幸 雄君	"
神戸市灘區篠原本町五ノ九八六 小島直方	工學士 川崎造船所製鋸工場 薄板課技師	准會員	吉 田 浩 君	的 場 幸 雄
仙臺市北目町八六 高橋せつよ方	東北帝大學生	"	矢 島 悅 次 郎君	村 上 武 次 郎
小倉市富野鳥越大山一七七三	小倉製鋼株式會社	"	松 田 勉 君	井 生 茂 三 郎
大阪市北區東野田町一ノ六一	住友金屬工業株式會社製鋼所鍛工場	"	安 原 正 男君	川 本 良 吉
小石川區林町三七 島村屋方(大塚五五七四)	東京帝大冶金學生	"	岩 村 英 郎君	田 中 清 治
埼玉縣秩父郡中川村上田野 笠原善高方	日本電氣工業會社秩父工場	"	西 内 俊 雄君	廣 島 吉 壽
八幡市東通町六ノ一三五〇	日本製鐵會社八幡製鐵所研究所	"	保 本 保 君	谷 口 光 平
淀橋區上落合二ノ八六八 五十嵐方	陸軍省經理局	"	堀 江 順 二君	新 井 忠 吉
蒲田區糀谷町四ノ一六二二 大華工具會社		"	梶 山 久 美君	茂 又 弘 貞
横濱市鶴見區安善町中山鋼業會社		"	中 野 秀 光君	中 山 半
"	"	"	戸 梶 福 治君	"
淀橋區西落合三ノ九三三	東京帝大冶金學生	"	田 鍋 力 君	田 中 清 治
横須賀市横須賀海軍工廠造機部		"	山 口 三 郎君	齋 藤 豐 三
川崎市大師河原小島新田日本火工會社		"	垣 内 小 四 郎君	松 永 陽 之 助
尼ヶ崎市西向島町 久保田鐵工所尼ヶ崎工場		"	河 井 貞 一君	田 中 勘 七
臺南市綠町一〇	臺灣鑄鋼所	"	曾 永 昌 君	村 松 橋 太 郎
滿洲國鞍山南六番町 久保田鑄鐵管會社	滿洲久保田鑄鐵管會社	"	齋 藤 日 露 英君	川 端 駿 吾
八幡市八幡製鐵所ロール課堂山工場	主任技師	"	箕 田 八 十 八君	目 黒 斌
"		"	松 尾 高 助君	"
兵庫縣武庫郡大庄村地先埋立地 日本亞鉛鍍 鋼業株式會社	工 學 士	"	宮 川 本 夫君	小 森 富 作
葛飾區新宿町三ノ八五八	千住鐵板製造所薄板工場組長	"	松 瀬 幸 一君	藤 田 芳 三
名古屋市中區出口町二ノ四四	工學士 大同電氣製鋼所	"	中 野 邦 弘君	田 尻 秀 男
旅順市大迫町二〇	旅順工大學生	"	勝 江 正 滿君	長 谷 川 熊 彦
中野區野方町二ノ一二三三	東京帝大冶金學生	"	山 根 可 雄君	田 中 清 治
神戸市須磨區小寺町四ノ二五	工學士 川崎造船所製鋼工場熔鋼場	"	石 田 孝 造君	谷 山 巖
旅順市中村町日新寮	旅順工大學生	"	若 杉 誠 三 郎君	大 日 方 一 司
大森區大森一丁目 日本特殊鋼合資會社		"	山 本 都 治君	渡 邊 三 郎
八幡市門田 日鐵住宅三二號	日本製鐵株式會社八幡製鐵所工務部 ロール課	"	田 中 健 造君	高 橋 説 次 郎
大連市臺山町二四	大連機械製作所鑄物職場	"	池 谷 盈 夫君	高 田 友 吉
王子區志茂町一丁目七九六	工 學 士	"	岡 野 定 忠 重君	村 松 橋 太 郎
川崎市京町一丁目二九(川崎二一八六)	日本化工株式會社合金工場	"	鴨 谷 嘉 信君	"
秋田縣秋田市檀山南新町上丁九 關方	秋田鐵專學生	"	池 田 圭 二君	志 村 清 次 郎

室蘭市茶津町社宅二〇號	日本製鋼所室蘭工場	橋本正三君	甲藤新
札幌市雁來町二	北海道特殊鑄物工場主	中川新作君	横山武人
名古屋市南區熱田新田東組二三ノ割一六五	工學士 大同電氣製鋼所	田邊健三君	中島審一
島根縣安來町國產工業會社安來製鋼所		小芝定雄君	菊田多利男
城東區大島町六丁目 東京鋼材株式會社	工學士	三宅川隆三君	廣瀬政次
室蘭市新富町社宅一〇二	日本製鋼所室蘭工場	大谷悅太郎君	打越光保
大阪市大正區船町三中山製鋼所		和田吉彦君	中島三太
大阪市住吉區北田邊町六七	中山製鋼所熔鑄爐建設部	鎌田保吉君	"
廣島縣賀茂郡廣村廣海軍工廠造機部鑄造工場	廣海軍工廠造機部	山下茂君	石川薰
"	"	若狹優君	"
"	"	空垣内彌長君	"
"	"	大石松夫君	"
吳市河賀郷町七七	吳海軍工廠製鋼部	池内惣五郎君	武林誠一
吳市平原町二八九ノ一 方岡庄作方	"	西山保次君	大畑宇治郎
佐世保市佐世保海軍工廠造機部		園儀八君	村松橋太郎
滿洲國鞍山南二番町一四ノ五	昭和製鋼所製鋼部製鋼工場	松本辰彦君	"
栃木縣日光町清瀧日光電氣精銅所	工學士	森澤正人君	西村啓造
名古屋市南區道徳新町九ノ三三七〇ノ一	工學士 大同電氣製鋼所	野田一六君	竹内保資
大阪府豐能郡中豐島村大字福井七八	住友金屬工業會社製鋼所鍛冶工場	大船實君	川本良吉
川崎市京町一ノ一七	日本鋼管會社技師	柳澤俊郎君	多田久三郎
山口縣下松町寺迫日立製作所々員合宿所	日立製作所笠戶工場	川本幸男君	村松橋太郎
本郷區駒込千駄木町四九 金星館	理學士 理化學研究所飯高研究室	眞殿統君	飯高一郎
江戸川區逆井二ノ三三四	川口製鐵會社技師	關口俊一君	内野久雄
秋田縣尾去澤町白啓寮	工學士 三菱鑛業尾去澤鑛山選鑛係	若松志廣君	藤井寛
神戸市葦合區脇濱町一丁目神戸製鋼所	工學士	吉野政次君	伊丹榮一郎
長野縣北安曇郡大町日本電工大町工場	工學士	多田嘉之助君	濱住松次郎
川崎市大師町中瀬日本製鐵富士製鋼所		神山正明君	小城五郎
牛込區市谷田町二ノ一九(牛込五〇一六)	工學士 東京鋼材株式會社	山本勝喜君	久恒中陽
大阪市此花區島屋町住友金屬工業製鋼所		常見邦正君	前岡武夫
神戸市葦合區脇濱町三川崎造船所製飯工場		中川正男君	大森偉一郎
横濱市鶴見區鶴見町四〇三	工學士 鶴見製鐵造船會社製鐵部	中島登二君	大村正篤